

※ 今週のアウトルック (8/6~8/10)

先週前半は、サポートラインからのリバウンドが優勢となり、やや円安が進みました。後半は、やや円高気味に推移したのち、予想を下回る非農業部門雇用者数の悪化から、ドル安円高が進み、週末を迎えています。

今週は、ドル円がサポートライン付近で下げ止まるかが、まずはポイントになりそうですが、クロス円のサポートラインブレイクを狙う勢いが、少し強くなってきていることなどから、全般的にはリスクオフへ向かう可能性が、やや高いようにも思います。

先週前半のドル円は、111円付近のサポートラインからのリバウンドから、112円付近まで上昇しましたが、後半は雇用統計の結果発表への警戒が強まりドル売りが優勢となりました。

金曜日の雇用統計の結果発表後は、非農業部門雇用者数の悪化などからドル売りが勢いを増し、111円前半まで戻して週末を迎えています。

今週はまず、111円付近のサポートラインで下げ止まるかどうか注目されますが、このラインをクリアされた場合には、109円台まで下落する可能性が高そうです。

ドル円の予想レンジは109円から112円です。

ユーロ円は先週、前半こそ131円越を狙う動きを見せましたが、後半はユーロ安に向かい、米国雇用統計発表後は128円以下まで下落しています。

今週はこのラインで下げ止まるかどうかはまず週目されますが、ここをキープできない場合、127円付近までの下落は避けられないように思います。

ユーロ円の予想レンジは127円から131円です。

ポンド円も本格的な下落トレンド入り目前といった感じです。143円付近のサポートラインを割ってしまった場合には、急落は避けられないと思います。

ポンド円の予想レンジは140円から147円です。

今週は米国雇用統計の悪化が、本格的なリスクオフへの動きに向かわせてしまうのか。前半の動きにまずは注目したいところです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。